

# 吉部徹君、宇都宮健君(国東農工高校)が初優勝

## 第15回高校生ロボット相撲全国大会

11月23日(金)、沖縄県宜野湾市の宜野湾市民会館行われた第15回高校生ロボット相撲全国大会で、自立型部門に出場した国東農工高校の「黒津崎Ⅰ」(操作員・吉部徹君、補助員・宇都宮健君(共に3年)が初優勝しました。

この大会には、同校の「黒津崎Ⅰ」と「黒津崎Ⅱ」(操作員・竹川和昂君、補助員・永松駿也君(共に2年))の2台をはじめ、自立型・ラジコン型部門にそれぞれ全国9ブロックの予選を勝ち抜いた32チームが出場。「黒津崎Ⅰ」は全国の強豪をつぎつぎと撃破し、決勝戦ではストレートで2本先取して初優勝を飾り、県勢としては初の横綱となりました。「黒津崎Ⅱ」は1回戦敗退でした。



▲市役所に報告に訪れた国東農工高校の皆さん(前列左から)川部康志君、吉部徹君、宇都宮健君、永松駿也君、(後列左から)信原航君、竹田津祐介君、野田市長、竹川和昂君、芳賀大君

また、24日(日)に行われた第15回全国高等学校ロボット競技大会で同校の「くにさき」(川部康志君(3年)、竹田津祐介君(2年)、佐藤圭君(1年))が5位の敢闘賞に輝きました。「唯我独尊」(信原航君(2年)芳賀大君(2年)川部正太君(1年))は3回戦敗退でした。

28日(金)に市役所に報告に訪れた川部康志君は、「国東農工高校として出場した最後の大会で、有終の美を飾ることができてうれしかった。」と喜びを語りました。

# 中園営農組合・河野洋一さん(安岐町)が最優秀賞受賞

## ◆第33回大分県麦作共励会

第33回大分県麦作共励会(11月7日(木)大分市・大分県教育会館)の集団の部で農事組合法人中園営農組合(宇都宮善次組合長・安岐町)、農家の部で河野洋一さん(安岐町向陽台)が大分県農業協同組合中央会長賞、大分県知事賞(いずれも最優秀賞)を受賞しました。

中園営農組合は構成員16名で、味噌用裸麦「トヨノカゼ」、醤油用小麦の「ニシノカオリ」を約15ha栽培。「トヨノカゼ」では、麦の生産性と品質の向上を図るため、生育に応じた栽培管理を励行することで、7ha以上のまとまった栽培で、単収600kg/10aを超える収量を達成したことが評価されました。

また、河野さんはイチゴとの複合経営の中で、適期に排水対策、中間管理など基本的技術を励行。裸麦「トヨノカゼ」に本格的に取り組み、単収500kg/10a、製粉用小麦「農林61号」では単収630kg/10aを達成したことが評価されての受賞となりました。

なお、農家の部で吉永義行さん(国東町浜)が奨励賞を受賞しました。

▶11月15日(木)、野田市長に受賞の報告に訪れた(左から)河野洋一さん、宇都宮善次組合長



# 木村利夫さん(国東町)が建築板金の部で第1位

## 第37回大分県技能コンクール

技能の向上や技術の継承を図る第37回大分県技能コンクール(11月4日(日)・大分市 大分地域職業訓練センター)で入賞した国東市地域技能士会(安松孝晃会長)の皆さんが、11月19日(月)に市役所を訪れ、野田侃生市長に受賞を報告しました。

同コンクールには、19部門に県内から約170名が参加。国東市からは、建築大工、建築板金の部に3名が参加し、建築板金の部で木村利夫さん(国東町田深)が見事第1位に輝きました。

また、団体の部でも4位に入賞しました。



▲左から山田勇副会長、安松孝晃会長、野田市長、木村利夫さん、溝部元生副会長